

小林かやこは、こんな人

バトンを渡します

ひたむきに！
まっすぐに！
クリーンに！

小林かやこ



立憲民主党大分県第3区総支部長

今こそ
まっとうな
政治を！



1968（昭和43年）父の赴任地アフリカ・エチオピア生まれ。幼少期をホンコン（英国領下）で過ごし、10歳で帰国。現在、別府市在住。

学歴

日本女子大学 文学部英文学科 卒業
早稲田大学 第二文学部 卒業
熊本大学大学院 修士課程 修了（公共政策学）

職歴

1990年 英国系銀行東京支店ディーリングルーム勤務
1997年 大分県湯布院町に移住
1999年 都市計画コンサルタント会社勤務
2004年 湯布院町議会議員選挙 初当選
2005年 市町村合併に伴い、由布市の市議会議員選挙に当選
以後3期（12年）市議会議員を務める
2017年 由布市長選に出馬するも落選
2018年 静岡県小山町で任期付特別行政職員として勤務
2019年 東京・永田町で公共政策コンサルタント会社に勤務

受賞

第1回ローカルマニフェスト大賞 審査員特別賞
日経 WOMEN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー 2008」

家族・趣味

家族：愛猫のアベベ&チー太
（ともに保護猫）
趣味：文楽・落語・歌舞伎
（学生時代は歌舞伎研究会所属）



みなさん、お変わりありませんか？
私に対するご支援を今でも有難く思い出しています。
このたび、小林かやこさんが私の政治活動を引継いでくれることになりました。ご承知のように自民党は裏金問題を真摯に反省する様子はありません。私が初出馬した31年前の政治状況と全く変わっていないことに驚きと怒りを覚えます。

今こそ「まっとうな政治」を国民の手に取りもどさねばなりません。小林かやこさんは、みなさんの夢を必ず国政に反映してくれる方です。私も力の限り応援して小林さんの政策を実現したいと思います。

小林かやこ後援会の活動に絶大なご協力をお願いします。



前衆議院議員 横光克彦

小林かやこ後援会

〒874-0838
大分県別府市荘園 3組 1
TEL： 0977-26-5858
FAX： 0977-26-2888
e-mail： k-koba@kayako-koba.com



X
（旧Twitter）



公式
ホームページ



Facebook



公式 LINE

1

不安社会から安心社会へ

子育て世代や働く女性を支えます

様々な世代が将来に大きな不安を感じながら必死で毎日を生きています。

安心して老後を迎えられる、安心して働いて暮らしていける、安心して子育てにとりくめる、病気になっても安心して治療が受けられる、社会保障の充実を求めます。

- ・国民年金や介護保険制度の見直し、在宅介護への手厚い支援
- ・社会や地域全体で、独居高齢者やワンオペ子育てを見守り、支える
- ・エッセンシャルワーカーの待遇向上
- ・教育費無償化、給付型奨学金制度
- ・出産費用の無償化
- ・働く女性の支援・環境整備



2

地方格差をなくす

STOP！国の中央集権化

国と地方との地域格差も深刻です。東京一極集中が進み、地方では消滅可能性自治体などと言われる地域も増えています。

私は、日本の農山漁村や中山間地域の地域活性化にもっと集中的に取り組み、それぞれの土地の特性や環境や地域の実態に即した、地域のすみずみにまで光のあたる政策づくりを進めたいと思います。

3

不平等な社会を変えます

社会の中に格差・分断が広がっています。

雇用や所得の格差、経済格差、教育格差、医療や社会保障の格差、人権やジェンダー格差など、社会のさまざまな面で不平等が広がっています。

新自由主義による強い者や声の大きい者が勝つ競争社会ではなく、だれもが支え合い・認め合いながら共に生きる優しい社会をめざします。

- ・勤労者が安心して働き続けられる賃金体系と労働環境の整備
- ・地域に密着した地場産業の育成と、雇用の場の確保

4

人にも地球にも優しい未来

持続可能な再エネの推進・平和を守る

未曾有の自然災害が世界中で頻発しています。地球温暖化防止は私たち人類の宿題です。今こそ、持続可能な地球の自然環境を守り、次世代に渡していく責任があります。

CO2の排出削減、持続可能なエネルギーの推進に取り組んでいきます。

また、軍備増強ではなく、理性と協調に基づいた平和外交と国際交渉力で平和国家を守ります。

詳しい政策集は、HPを見てネ！



小林かやこ後援会のHPはこのQRコードから



国民目線の政治を！

STOP! 金権・利権政治！

今こそ、まっとうな政治へ

こんにちは。小林かやこです。

いま、かつてないほど政治に対する不信感が高まっています。長年にわたる一強多弱状態の自民党政権の慢心が、この国の政治を歪めてきました。

国民の声を聞かない、国民の方を見ない、議論をしない…そんな「見ざる・言わざる・聞かざる」の政治を止めて、私たち一人ひとりの声、地域すみずみの声がきちんと届く、本当の民主主義を、今こそ私たちの手に取り戻しましょう。私もひたむきに、そしてまっすぐに頑張ります。

